



ゆいぐみだより

2024年 3月 第6号



かんがえてみよう



子ども達が色々疑問に思った事を「なんで？」と聞いてくることがあります。保育士が答えてしまうのは簡単ですが、「なんでだとおもう？」と子ども達の考えを聞くのがとても面白いです。正解でも、間違っている場合でも、自分の思いを伝えようと一生懸命言葉を探しながら説明する姿がかわいらしくもあり、とてもいい表情をしています。

★くもは、どうしてしろいの？

天気の良い日に、空を見て子どもが教えてくれました。「空が水色に見えるのは、太陽が眩しいから。雲は、太陽の力で海が温かくなって、見えないけど空気がどんどん上がって行って白くなったんだよ。」と得意気に話してくれました。そんな難しい事を知っている事に驚きました。

★いくらはだれのたまご？

回転寿司ごっこで遊んでいると、サーモンの話で盛り上がり「サーモンを焼いたら鮭になるんだよ」と話をしていました。そこで疑問がひとつ。「いくらは誰のたまごか？」「サーモンのたまご？」「鮭のたまご？」のどちらなのか論争が始まりました。「サーモンのたまご」という意見が多い中、そこから「めんたいこ」「うに」など話しが変わっていき、さらに分からなくなりました。で、「なんでもいいや」とサーモン論争は終わりました。

あっという間に今年度も残すところ1ヶ月となってしまいました。卒園や就学に向けて話をすることも増え、保育園生活が残り少なくなっている事を実感している子ども達です。就学を楽しみにしている気持ちもありますが、大好きな友達、保育園や保育士達との別れを寂しく感じる気持ちも大きいようで「皆でずっと一緒にいたい」と友達同士の会話も聞こえてきます。10月末に友達の退園があり、子ども達はずっと一緒にいた友達との別れを経験した事で、離れてしまう事の寂しさを敏感に感じているようです。寂しさを心に抱えつつ「ずっと友達」「離れていてもお互いに頑張ろう」と就学に向けて意欲も見せています。

先日、子ども達と1年間を振り返り「楽しかった思い出」を聞いてみました。「お泊り保育」では、花火や肝試しなどもありましたが、何よりも皆で保育園に泊まったことが楽しかったようで、今でも時々「保育園にお泊りしたい」という声も聞こえてきます。次に「ホーリーホックのサッカー教室」もありました。1番多かったのが「皆でいっぱい遊んだ事」でした。色々な遊びを通して考えたり、挑戦したり、時には上手くいかない事があったりと様々な経験をし、諦めずに頑張っていく事で出来るようになる喜び、自信へと繋げていく事が出来たと思います。自分の事だけでなく、友達の事も思いやりながら一緒に頑張っていこうと励まし合って取り組んでいく姿も見られました。年長児としての自覚をもち、色々な事にチャレンジし、大きな成長を感じられる1年となりました。

保育園生活も残りわずかとなってしまいましたが、忘れることの出来ないような楽しい日々を過ごしていきたいと思います。



おわかれ遠足

